一般質問通告順序表

No.1 (令和3年6月14日)

番号	質問	者	質問の相手	質問の要旨
1	大六野	一美	市教育長	 改選に向けて (1)令和3年11月の改選に向けて、どの様な想いを持っているのか。 (2)実年齢での評価もあるが、先の新聞で「全国最高齢市長」になったとの報道は、真に本市の誇りに思えるが、市長はどう捉えているか。 (3)コロナ禍の中での政策を評価する声は多い。この厳しい現況下、市長の経験が大きく生かせる。是非、続けて欲しいとの声があるが如何か。 2. 冠岳小学校の跡地利用の連携について (1)冠嶽芸術文化村構想との関連を含め、どこまで跡地利用の活用策が検討されているのか現状を伺う。 (2)校長・教頭住宅の利活用はどのようになるのか。廃校はすでに1年前に決定していたことから方向性はすでに決まっているのが当たり前だと思うが、いかがか。
2	濵 田	尚	市教育長	1. 若者に向けた本市の政策について 本市の人口ビジョンの将来推計では、20~49 歳の人口減が著しくなると言われている。最近のデータでも若者世代の流出は顕著で、市民からも若者が少なくなったとの話がされ、私自身もそういう実感がしている。 次代を担う若者が、地元に愛着を持ち誇りを育むために、生涯にわたって活躍できる環境を創出し支援することは、私たちの世代、大人としての責任・責務であり、しっかりと議論し取組む必要がある。 (1)これまでの若者に対する市の政策・取組について伺う。また、若者の意思や意見を反映している計画などはあるか。 (2) 若者が積極的に市政に参画できる機会の創出や人材育成について伺う。 2. 観光行政について (1)道の駅設置の取組に、プロジェクトチームの立ち上げを検討してはどうか。 (2) JAFとの観光協定の締結について伺う。

	<u> </u>		
3	東 育代	市長	1. 総合戦略 2021 について (1)第 1 期人口ビジョンの将来人口目標の指標の一つである「合計特殊出生率」「若い世代の転入」を現状と比較すると、目標と現状に乖離が発生している。 ①年齢階級別の人口の推移と市民ニーズの関係比較では、若い世代のニーズに対応した社会動態減少の抑制対策が必要とあるが、今後の取組はどのようか。 ② 同規模自治体との将来人口推計(減少率)と合計特殊出生率の関係比較では、合計特殊出生率の増加を目指した、妊娠・出産・子育て環境の充実が必要とあるが、今後の取組はどのようか。 ③同規模自治体との女性就業率(25~44歳)と合計特殊出生率の関係比較では、女性活躍社会に対応するため、家庭・子育てと仕事を両立できる環境づくりが必要とあるが、今後の取組はどのようか。 (2)令和3年度から令和8年度までの第2期総合戦略で目指すべき「具体的施策」が示された。 ①くるみん認定事業所普及事業の取組について伺う。 ②子供を安心して産み育てられる環境整備について伺う。
4	吉留良三	市	1. プレミアム付商品券による地域活性化策について (1)高齢者、障がい者など移動困難者などへの配慮が必要ではないか。 (2)商品券の使い方に、工夫が必要ではないか。 2. 農山村のもつ多面的役割のための施策について (1)森林環境譲与税について伺う。 ①森林の状況報告書の提出状況はどうか。 ②税収見込みをどう考えているか。 ③その使途の計画はどうか。 (2)林道整備について伺う。 ①現在の整備状況はどうか。 ②今後の整備方針はどうか。 3. 防災と地域の担い手の消防団員の確保について (1)消防団員の充足状況について伺う。 (2)消防団員の負担軽減は必要ないか。 (3)消防団員の処遇改善を図るときではないか。
5	中里純人	市長	 ヤングケアラーについて (1)認識について伺う。 (2)実態調査について伺う。 (3)支援のあり方について同う。 2. 教育施設の整備について 施設の老朽化が進んでおり、子どもたちが通う学校(教育施設)でも見受けられる状況である。補修や修繕工事を急ぐべきではないか。 3. 交通安全対策について

一般質問通告順序表

No.2 (令和3年6月15日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
6	原口 政敏	市教長長	1. 生活困窮者への支援について 新型コロナウイルス感染拡大による生活困窮者が増えている。国の 補助金活用も重要であるが、市独自で生活困窮者の子どもたちの給食 費を、新型コロナウイルス感染拡大が収束するまでの間、無償化する ことは出来ないか。 2. 学校教育について (1)コミュニティ・スクールは、道徳教育としても有意義な制度と考え る。教員や保護者、地域の方々からなる学校運営協議会は、年に何 回開催し、これまでどのようなことを話し合ってきたか。 (2)中学生の自転車通学について、学校で決められている通学路を通 らない生徒がいる。交通事故も懸念されることから、「通学路の遵 守」の指導は、どの程度行っているか。 (3)学校遊具について、他県において遊具事故による死者もでている ようである。日常的に点検・修繕は行っているか。 3. 大里川の拡幅工事について 過去に大雨で決壊した箇所の改修について、拡幅工事の進捗状況は どのようか。梅雨時期になるが再決壊の恐れはないか。 4. 公金等の取り扱いについて 市が取扱う公金等について、現金の取り扱いをなくして振込に限っての対応とすべきではないか。
7	江口 祥子	市長教育長	1. 災害時の備蓄状況について (1)市が所有する備蓄品の状況について伺う。 (2)消費期限を迎える備蓄食品は、どのように対応しているのか。 (3)乳幼児向けや女性向けの備蓄品は充足しているのか。 2. 女性の負担軽減について (1)生活に困窮する女性に対し、地域女性活躍推進交付金を活用して生理用品を配付できないか。 (2)学校や公共施設のトイレに、生理用品を配備できないか。 (3)学校では、どのような気配りやフォローを行っているのか。 (4)女性の必要な支援が受けられるよう、情報発信に取組むべきではないか。

8	福田 清宏	市教育長	1. 道路維持費等について (1)令和3年度の道路改良特別事業費が、例年の52%に削減された理由について伺う。 (2)道路改良特別事業の事業内容等について伺う。 (3)令和3年度の土木費等の削減について伺う。 (3)令和3年第1回定例会の議案説明の中で、「今後は常駐する管理人体制は廃止する。日常の管理等については、まちづくり協議会の嘱託員設置補助金を活用する手法で、統一して管理するということで、市として方針を立てた」とのことでしたが、その検討・協議の経緯と内容について伺う。 (2)各地区まちづくり協議会への嘱託員設置補助金60万円の使途内容について伺う。 (3)交流センターの開館日について伺う。 3. 子ども会の活動について (1)各公民館子ども会の活動の現状について伺う。 (2)いちき串木野市子ども会育成連絡協議会と市内の各地区子ども会育成連絡協議会の活動状況について伺う。 (3)少子化により、各公民館子ども会において、その活動を、活発に行うことができない地区にあっては、地区子ども会の組織立ち上げが必要であると思うが如何か、伺う。
9	田中和矢	市教育長	1. 新聞の各クラスへの設置について 昨今、子ども達の文字・活字離れが進んでいる。新聞を小学校高学年と中学校の全クラスに常備し読むことで社会の事象にも興味を持ち、表現力・思考力・判断力を養う一助となり、効果は大きいと考える。市長の考えと実現の見通しについて伺う。 2. 外灯設置について LEDの外灯の設置については、現行では、設置費用の3分の2が市の補助、3分の1が公民館の負担となっている。安全確保や防犯の面から最低必要な外灯は全額、市の負担が妥当ではないかと考える。「ふるさと寄附金基金」の活用で実現可能ではないか。 3. 街路樹の剪定について 国の方針で街路樹や低木の植栽を進めて40年が経過し、市内の各地で歩道を狭くし、電線に触れるなど支障が出ている。今後の市の計画や見通しについて伺う。 4. 都心平江線の「新橋」の供用開始について 工事完了から数ヶ月が過ぎているが、未だに通行できない状況である。その理由と供用開始の時期を伺う。

10	西別府 治	市長	1. 地球温暖化防止活動と地域創生エネルギービジョンについて (1)2019~2030 のいちき串木野市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の取組状況と目標達成について伺う。 (2)2018~2027 の地域創生エネルギービジョンの再生エネルギー等の中間報告について伺う。 (3)自治体排出量カルテによる部門・分野別の温室効果ガスの本市の傾向と経年変化について伺う。 2. 脱炭素に向けた地方自治体の取組について (1)改正地球温暖化対策推進法に追加された基本理念と自治体の再エネ導入目標について伺う。 (2)国内のゼロカーボンシティへの参加自治体数とその活動状況について伺う。 (3)地域脱炭素ロードマップの集中期間(2025年度まで)の本市の政策内容について伺う。 (4)気候危機や防災・減災に立ち向かうためにも、本市もゼロカーボンシティを目指すための政策について伺う。